

9

次の一から七までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書^{かいしょ}でていねいに書きなさい。

1 ビヨウソク五メートルの風が吹く。

2 地図のシユクシヤクを調べる。

3 アマったお金を貯金する。

二 次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

1 詳細に述べる。

2 シャツの袖をまくる。

3 学校のことを新聞に載る。

三 次のアからオの文では、最も適切な言葉を、カの文では、——線部に当てはまる漢字として正しいものを、それぞれ（ ）の1から4までの中から一つ選びなさい。

- ア 将来は、(1 気象 2 気性 3 起床 4 希少) 予報士になりたい。
- イ 彼がこの討論の(1 火種 2 点火 3 火薬 4 口火)を切った。
- ウ 私が先生のお宅に(1 承ります 2 いただきます 3 参ります 4 いらっしゃいます)。
- エ 彼女は、学級の(1 縁 2 床 3 板 4 面)の下の力持ちと言える存在だ。
- オ (1 たてこもる 2 たちならぶ 3 たなびく 4 たたずむ)雲の間から、春の光がもれている。
- カ 新聞を読むシユウカン(1 間 2 慣 3 刊 4 感)を身に付ける。

四 次の文章の ① と ② に当てはまるものとして最も適切なものを、あとの1から4までのの中からそれぞれ一つ選びなさい。

私は伝えたい内容が明確になるように、次のアの文をイの文に変えました。イの文の方が、器の色が特に目を引き付けたことが伝わります。これは「青い」という ① を、「青さ」という ② に変えて、主語にしているためです。

ア 大きな青い器が私の目を引き付けた。

←

イ 大きな器の青さが私の目を引き付けた。

1 名詞

2 動詞

3 形容詞

4 形容動詞

五 次の【説明】は、「永」という字のどの部分を書く際のものですか。あとの㊦から㊩までのうち、最も適切なものを一つ選びな
よ。

【説明】

徐々に筆圧を加えていき、一度筆を止めて、穂先をそろえるように払う。



六 次は、松田洋子さんが、職場体験でお世話になった小山健さんへ書いたお礼の【手紙の下書き】です。松田さんは、【手紙の下書き】の後付けの部分について正しく直すことにしました。直し方とその理由として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

【手紙の下書き】

拝啓

さわやかな季節となりました。お元気で過ごしてでしょうか。

さて、先日の職場体験の際には大変お世話になりました。私たちの質問についてねいにお答えくださいましてありがとうございます。

最後になりましたが、皆様の御健康をお祈りいたします。

敬具

十月一日

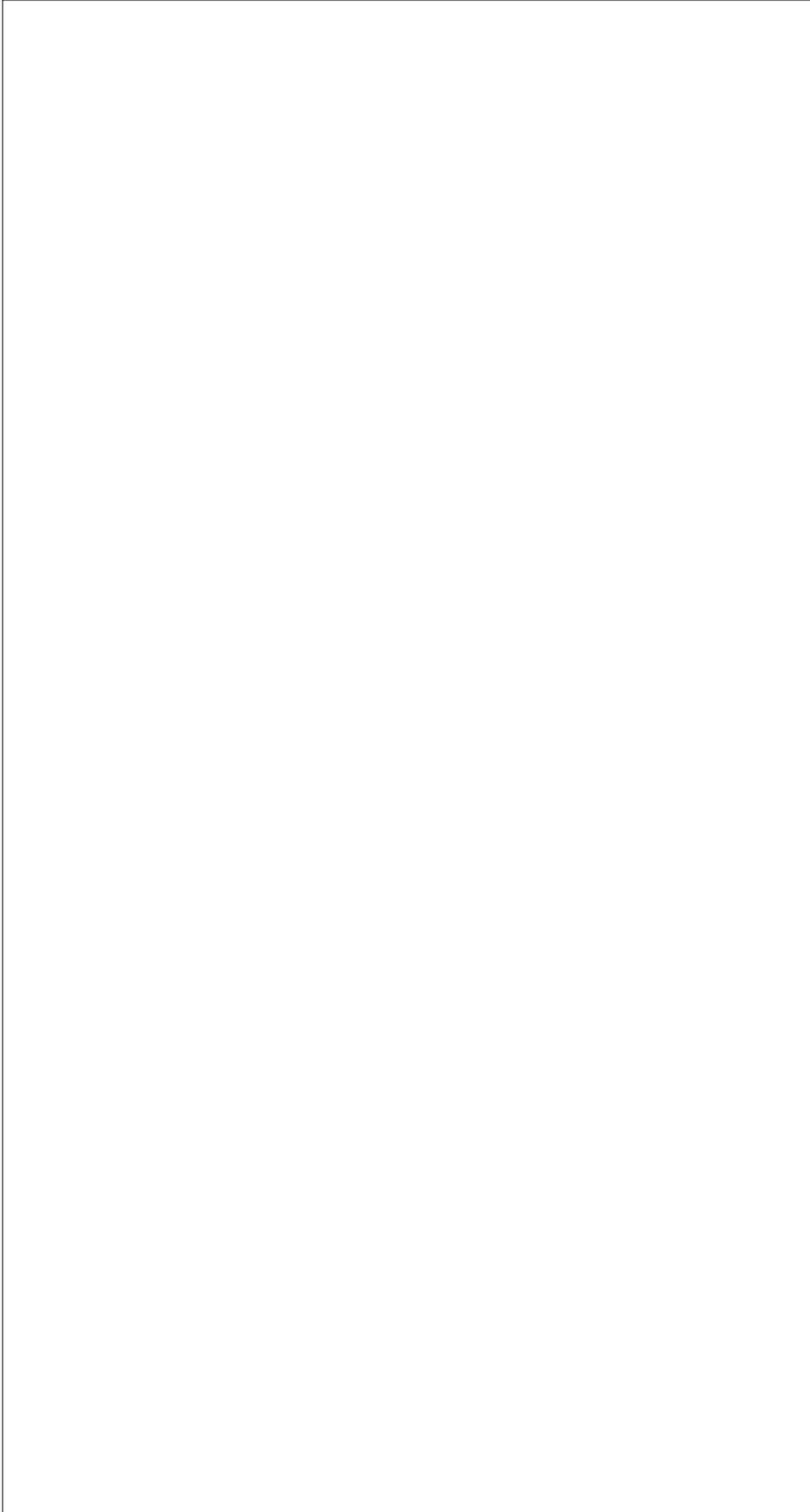
松田洋子

小山健様

- 1 差出人が誰かを明確にするため、「松田 洋子」は、「十月一日」と同じ高さに書く。
- 2 相手に敬意を示すため、「小山 健様」は、「松田 洋子」や「十月一日」より高い位置に書く。
- 3 名前の方が重要なので、「松田 洋子」と「小山 健様」は、「十月一日」より高い位置に書く。
- 4 日付は重要ではない情報なので、「十月一日」は、「松田 洋子」や「小山 健様」と同じ高さに書く。

七 次は、【漫画の一部】とその場面の【古典の文章の一部】です。【古典の文章の一部】の（ ）（ ）の中は現代語訳で書かれています。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（【漫画の一部】の①から⑤は、順番を表します。）

【漫画の一部】



【古典の文章の一部】

「何事思ひたまふぞ。おぼすらむこと、何事ぞ」と言へば、「思ふこともなし。物なむ心細くおぼゆる」と言へば、
翁おきな、「月な見たまひそ。これを見たまへば、物おぼす気色けしきはあるぞ」と言へば、「いかで月を見ではあらむ」とて、
(やはり月が出ると、縁側に出て座り、ため息をついている。)

1 【漫画の一部】の④にある の部分は、【古典の文章の一部】のどの部分と対応していますか。対応している部分として最も適切なものを、【古典の文章の一部】の——線部アからエまでの中から一つ選びなさい。

2 【古典の文章の一部】の作品名を漢字四字で書きなさい。